

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	炎症性骨破壊に関与する病原性破骨細胞の同定とその制御による新規治療法の開発
研究代表者	石井 優 (大阪大学・大学院生命機能研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>応募者らは、関節リウマチなどの関節炎組織における生体イメージング技術を用いて、正常骨代謝に関与する破骨細胞とは異なる炎症性破骨細胞(iOC)や、その iOC に分化する能力を有する炎症性破骨前駆細胞(iOCP)を同定している。本研究では、それらの新しい研究成果をもとに、iOCP の細胞生物学的特性をマウスモデルやヒト関節炎組織を用いて解明するとともに、iOCP を標的とする新規治療法を目指した創薬研究を行うこととしている。</p> <p>本研究の着想に至る経緯、国内外の研究動向や位置づけは明確で、学術性、独自性及び創造性が高い研究課題である。本研究によって得られる成果は、炎症性骨破壊機序の解明や治療に貢献するだけでなく、腫瘍性骨破壊制御や骨転移抑制への応用も期待される。</p>